



教育通信

こころのわ

●学校・家庭・地域社会の[心]を結ぶ●

VOL. 27



© 岡山県「ももっち」



変わる! 品 特集 岡山の教育



昭和41年頃の小学校給食

昭和40年代に県内の小中学校の給食普及率がほぼ100%となりました。



昭和47年頃のOHP (オーバーヘッド・プロジェクター)を使った授業

当時、多くの小学校に普及しており、視聴覚機器として活躍していました。

平成13年の中学生による職場体験

平成13年から中学2年生が事業所で3日から5日程度の職場体験を行う「チャレンジ・ワーク14」が始まりました。



1966

1972

1979

1986

2001

昭和54年に実施された大学入学試験の様子

昭和54年の1月から、大学入試に大学共通第一次学力試験が導入されました。平成2年1月からは大学入試センター試験となりました。



昭和61年頃の高等学校でのコンピュータを使った授業

情報化に対応するために、コンピュータを使った授業が導入され始めました。



挑 戦 ～不易と流行～

近年の人工知能の発達などにより、今後の私たちの生活は大きく変化するといわれています。未来予測の中には、20年以内に今の仕事の約50%を機械が行うといったものや、多くの人々が現在は存在しない職業に就くといったものがあります。このような変化の激しい時代では、今までの価値観や方法が通用するとは限りません。

私たちは新しい時代に呼応した教育を進めていきます。今回の特集では、「変わる! 岡山の教育」と題して、英語教育の充実やプログラミング教育の導入など様々な教育改革が今後どのように行われていくかを紹介しています。一方で、私たちはいつの時代でも、教育への強い使命感と情熱を持ち、本気で子どもたちと向き合い、子どもたちの成長に寄り添っていきたくと思っています。

また、これら様々な教育改革を、実りあるものにするためには、教職員の長時間にわたる時間外業務を見直さなければなりません。今年度から、教職員の時間管理や部活動休養日の徹底など教職員の働き方改革も進めており、教職員が元気で子どもたちに向き合えるよう努めてまいります。

私たちは挑戦を続けます。未来を生きる子どもたちが実り多い人生を送っていくために。



岡山県教育委員会教育長

たけい ちくら
竹井 千庫

目次

vol.27 contents

- 1~3面 特集「変わる! 岡山の教育」
- 4面 岡山の子育て大事典
- 5面 地方創生を担う高校生の活躍!

- 6面 この秋オススメ! おかやまの隠れた文化財
- 7面 いじめ防止ポスター・標語、わが家のすこやか日記
- 8面 シリーズ教育相談、発達障害について

家庭向け教育情報紙 VOL.27 平成29年10月

編集・発行 / 岡山県教育庁教育政策課
〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号
☎(086)226-7569

この「こころのわ」は、子どもたちをすこやかに育てていくうえで必要な情報を県内の保護者の皆さんに提供します。
※「こころのわ」は県のホームページからダウンロードできます。



変わる! 岡山の教育

～学習指導要領の改訂～

グローバル化の進展、人工知能の進化などにより、子どもたちの将来は予測困難な時代になると言われており、これからの教育には、様々な変化に向き合い、他者と協働して課題を解決したり、社会の成長につながる新たな価値を見出すことができる人材の育成が求められます。こうした状況を踏まえ、新しい学習指導要領が小学校では、平成32年(2020年)度から、中学校では平成33年(2021年)度から本格実施となります。また、高等学校の新しい学習指導要領も、平成34年(2022年)度から実施される予定です。新しい学習指導要領では、これまで学校教育で目指してきた知徳体のバランスのとれた生

きる力の育成を継続するとともに、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の^{かんよう}涵養を重視し、未来社会を切り開くための資質能力を育むとされています。具体的には、小中学校の道徳の教科化や、小学校英語の教科化、プログラミング教育の導入、「アクティブ・ラーニング」(主体的・対話的で深い学び)の視点から学習過程を改善すること等が示されています。県教委においても、新しい学習指導要領を踏まえた実践が確実に行われ、子どもたちが未来の創り手となる力を身に付けていくことができるよう、学校や先生方を支援していきたいと考えています。



変わる! [授 業]

この度の学習指導要領改訂では、子どもたちが知識や技能を習得するだけでなく、習得した知識や考え方等を手段として、子ども自らが情報を収集したり、友達と課題解決に向けて話し合い、まとめ、表現したりする学習に取り組み、その過程の中で学びの質を高めるような学習にしていくことが求められています。こうした学習により、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続ける力を育成することが大切です。



話し合いながら課題を解決していく授業



変わる! [英語教育]

今の子どもたちが大人になる時には、さらにグローバル化が進み、様々な国の人々とのコミュニケーションが不可欠になると言われており、その一端を担う英語教育が強化されます。小学校3・4年生で週に1回程度の外国語活動、5・6年生で週に2回程度の英語科の授業が行われ、「聞くこと」「話すこと」を重視しながら、高学年になると「読むこと」「書くこと」に親しむ活動も取り入れられます。中学校では、英語の授業は基本的に英語で行われ、扱う英単語数の増加など一層の充実が図られます。



小学校での英語の授業



変わる! [道徳教育]

道徳の時間が「特別の教科 道徳」として新たに位置付けられます。週1時間の授業時間は変わりませんが、教科書が導入され、思いやりや正直、規則の尊重などを子どもたちが自分のこととしてとらえ、友達との話し合いの中で考えを深めて、子どもたちの道徳性を育みます。なお、道徳科の学習状況や道徳性に関する成長の様子を個人ごとに評価し指導に生かしますが、数値で評価して他の子どもたちと比較したり、入試で活用したりすることはしないこととされています。



小学校での道徳の授業

学びに向かう力・人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

育成すべき資質・能力の 三つの柱

知識・技能

何を理解しているか
何ができるか

思考力・判断力・表現力等

理解していること・できることを
どう使うか

小学校に導入されるプログラミング教育は、プログラミング言語を覚えたり、プログラミング技能を習得したりといったことを目指すものではありません。自分たちの生活が情報技術によって支えられていることに気づき、コンピュータに自分が意図した指示を入力する体験を通して、論理的に考える力を身に付けることを目標としています。また、小学校でのプログラミング教育の取組を踏まえ、中学校では技術・家庭科で、高等学校では情報科で、全ての生徒が実際のプログラミングを学び、情報活用能力を身に付けていきます。



小学校で行われたプログラミング教育の研究授業



[大学入試] も変わります!

今後の時代を生きる上で必要となる資質・能力の育成に向け、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜(大学入試)の一体的な改革が進められています。「学力の3要素(①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)」をバランスよく育み、大学入試で、多面的・総合的に評価します。現在の大学入試センター試験にかわり、平成32年度から大学入学共通テストが実施されます。国語及び数学では記述式問題も出題され、英語では、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を評価するようになります。また、各大学では学力の3要素を多面的・総合的に評価するためAO入試や推薦入試、一般入試が見直される予定です。

今後の教育改革の大きな流れ

(年度)	H29年(2017年)	H30年(2018年)	H31年(2019年)	H32年(2020年)	H33年(2021年)	H34年(2022年)
小学校		今年度満4歳の子どもが 小学校に入学する時からスタート!		新学習指導要領 全面実施		
	小5・6で 外国語活動			小5・6で英語が教科化 小3・4で外国語活動		
		道徳の教科化 開始		プログラミング 教育が必修化	現在小学3年生が 中学1年生になる時からスタート!	
中学校		来年度高校1年生が 3年生になる時から実施!	道徳の教科化 開始		新学習指導要領 全面実施	
高校	新学習指導要領 公示	大学入学 共通テスト 試行調査(プレテスト)実施		大学入学 共通テスト実施		新学習指導要領 年次進行で実施

地方創生を担う高校生の活躍!

地域の課題などを自らの課題としてとらえ、地域の人と関わりながら、主体的にその解決に取り組む学習は、地域への愛着と誇りを持ち、おかやま創生に貢献できる人材の育成に有効です。ここでは、そうした取組を積極的に実践している県立学校の一部を紹介します。

地域と連携して課題解決に挑み、将来地域に貢献する人材を育成しています!

勝山高校

教員など高いコミュニケーション能力が必要とされる人材の高校段階からの育成

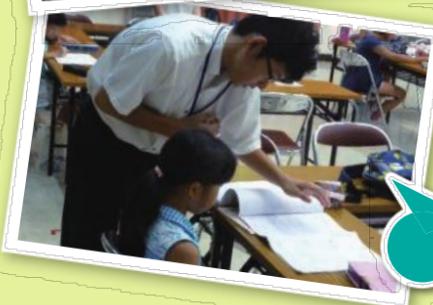
老人ホームへの訪問



3年間の高校生活で、地元小中学校での学習支援、県総合教育センターでの研修体験、大学・企業などへの訪問、地元と連携したボランティアなどの様々な活動を通して、教員やその他様々な職業で必要とされる自己マネジメント力、人間関係構築力、プレゼンテーション能力などの向上を図っています。

生徒は、地域で学ぶプログラムにより、地域課題の解決に対する意識や、地域を担う責任感を高めています。

小学生への学習支援ボランティア



邑久高校

地域の魅力と課題を学び、地域の活性化に貢献するリーダーの育成

市のワークショップでの意見交換



地元の施設や企業などでのフィールドワーク、市の次世代を担う若者ワークショップへの参加、市長講演会の受講などを通して、発見した地域課題についての解決策を学年縦断グループで研究し、年度末に地域の方も招く発表会で発信します。

その他、図書館や公民館との連携、地域の行事への参加など、地域の文化や伝統に触れる活動も行い、地域理解を深めています。

あるグループでは、市の次世代を担う若者ワークショップにおいて、駅前等整備に関するパブリックコメントを提出するなど、多くの生徒が地域への関心を高めています。

地域への研究成果の発表



これら2校の他に、以下の高校では、地元自治体や企業の方にも参画いただき、地域資源を活用した特色ある教育内容づくりに取り組んでいます。

- 瀬戸南高校 / グローバル市場を目指す「攻めの農業経営」人材の育成
- 真庭高校 / 森林資源を活用したまちづくりを担う人材の育成
- 勝間田高校 / 木材資源を活用した地域振興を担う人材の育成
- 鴨方高校 / 産官学連携による環境保全活動を通じた地域貢献

地域の資源を生かした商品開発を通して、人とのつながりや新たに価値を創造できる人材を育成しています!

笠岡商業高校



豊かな観光資源である島しょ部を調査・研究し、地域と連携して観光ツアーを立案、生徒自らが観光ボランティアを担うことで、島の魅力を市内外にアピールしました。

生徒が企画した笠岡諸島を巡る日帰りツアー(高島、北木島、真鍋島・六島の3コース)に市内外の一般客約50人が参加し、島の魅力を存分に堪能しました。

●実施日 / 平成29年2月11日(土)

新見高校



専門学科3科のコラボレーションによる「新高ブランド」を商品化しました。

生物生産科による千屋牛のミンチ肉と地元野菜を混ぜた新商品「もんげー味噌」や工業技術科による千屋牛の碁盤乗りを模したステンレス製栓抜き等を「とっとり・おかやま新橋館」で総合ビジネス科の生徒が販売しました。この取組を通して、新見市のPRや地域活性化に貢献するとともに、魅力ある学校づくりにつながりたいと思います。

高校生開発商品直売店の開設



公立学校共済組合岡山宿所「ピュアリティまきび」では、県下の職業系高校等で学ぶ生徒が開発した15校32商品を、一堂に集めて販売する常設の直売店を開設しました。商品に関する説明や、企画・開発・製造過程などを紹介しており、各高校の情報発信の役目も果たしています。

人気商品ベスト3 (売上数:平成28年度)

- 第1位 吉備物語(かりんとう:岡山東商)
- 第2位 笹の葉せんべい(西大寺)
- 第3位 ごばこち(クッキー:笠岡商業)

文化財課職員に
聞きました!

この秋オススメ! おかやまの隠れた文化財

岡山にはたくさんの文化財があり、観光地となっているところも多いです。今回は、訪れる人は決して多くはないが、オススメの国指定・県指定文化財を文化財課の職員に聞いてみました。

※道に迷いやすい場所もあります。事前の準備をお忘れなく。

い 国指定史跡 ●岡山市北区いずみ町 津島遺跡



多くのイベントが催される県総合グラウンド。その中に姿を現す竪穴住居。そのミスマッチも楽しい「津島やよい広場」は弥生時代の集落の雰囲気が味わえる貴重な場所です。

ろ 県指定重要文化財 ●岡山市中区東山 玉井宮東照宮本殿



世界文化遺産の日光東照宮が有名ですが、岡山にも東照宮があります。1644年建築の本殿には、当時の彫刻や彩色の一部が残され見応えがあります。東山公園の東にあります。

は 国指定重要文化財 ●倉敷市酒津 高粱川東西用水取水施設



桜の名所として有名な酒津公園にあるこの施設は、大正期における最大規模の農業用水施設です。特に南配水樋門は15連からなる大規模構造物で、写真撮影のポイントにもなっています。

に 国指定史跡 ●倉敷市庄新町 橋築遺跡



高等学校の日本史教科書にも登場する橋築遺跡。弥生時代の墳墓としては最大級。頂部に立ち並ぶ石は、まさしく石の橋のよう。収蔵庫の旋帯文石(国指定重要文化財)も必見です。庄パークヒルズ内にあります。

ほ 国指定重要文化財 ●津山市一宮 中山神社本殿



1559年建築の本殿は、入母屋造で、妻側に唐破風の向拜を設ける独特の形式は、「中山造」と呼ばれ、美作にはこの形式の神社本殿が多く存在しています。中山神社前バス停のすぐそばです。

と 県指定名勝 ●高梁市川上町高山 弥高山



標高約653m、比高約150mで、吉備高原上に一際高くそびえる釣鐘状の山です。展望台からは雄大な景色が眺められ、秋は紅葉や雲海などが楽しめます。弥高山入口バス停の西方です。

り 県指定天然記念物 ●新見市豊永赤馬 満奇洞



阿哲台にある鍾乳洞で、長さは約450mとそれほど長くはありませんが、洞内の景観は素晴らしく、飽きることはありません。満奇洞バス停の近くにありま。

ぬ 国指定史跡 ●備前市吉永町和意谷 和意谷墓所



岡山藩主池田家の墓所で駐車場から20分ほど山道を歩くことになりますが、普段目にするのがない儒教式の墓、特に姫路藩主だった池田輝政墓所の「亀趺」と呼ばれる亀形の台石は必見です。

る 国指定史跡 ●赤磐市奥吉原 熊山遺跡



標高508mの熊山山頂にある、高さ3.5mの三段の石積み施設です。奈良時代の仏教関係の施設とされています。展望台からの眺めも良いのですが、麓からの道が細く要注意です。

を 国指定史跡 ●真庭市上中津井 大谷・定古墳群



飛鳥時代の方墳6基があり、列石と呼ばれる石の囲いをめぐらせ、階段状の構造をしているのが特徴です。中津井小学校の南西にある大谷1号墳は当時の姿に整備されています。

わ 国指定史跡 ●鏡野町富西谷 鍛冶屋谷たたら遺跡



江戸時代のたたら製鉄の施設が、比較的良好な状態で保存され、たたら製鉄を学習できる場所として非常に貴重です。のとり原キャンプ場から徒歩で行けます。

か 県指定天然記念物 ●奈義町小坂 阿弥陀堂のイチョウ



県内で有名なのは、菩提寺のイチョウ(国指定天然記念物、奈義町高円)ですが、こちらも推定樹齢900年とされる巨木です。両者とも法然ゆかりのイチョウと伝えられています。小坂バス停の北東、馬桑川東岸にあります。

よ 国指定重要文化財 ●吉備中央町北 妙本寺番神堂



1497年建築と伝えられ、正面1.8m、側面1.5mと小さな建物ですが、緻密な彫刻と色彩の鮮やかさは見物です。このほか境内には県指定重要文化財の本堂もあります。妙本寺前バス停の東方約0.2kmのところにあります。



10月・11月には、岡山県内で文化財を活用したイベントがたくさん開催されます。紹介ガイドブック「ぶらり おかやまの文化財」を作成しましたので、市町村教委や公民館などで入手しお出かけください。また、県内の国・県指定文化財については、「おかやまの文化財」(<http://www.pref.okayama.jp/cgi-bin/bunka/culture/controller/client/top.cgi>)に紹介しています。ぜひ御覧ください。

平成28年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター・標語」県教育長賞・優秀賞作品

県教育委員会では、6月の第1日曜日からの1週間を「いじめについて考える週間」と設定し、学校や家庭、地域において、いじめを許さない意識や態度を育み、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、「いじめ防止ポスター・標語」の募集を行っています。次の作品は、平成28年度に応募のあった作品のうち、県教育長賞及び優秀賞を受賞された作品です。＊学年は平成28年度のものであります。

岡山県教育委員会教育長賞



【ポスターの部】

倉敷市立倉敷第一中学校1年 渡谷 知万里

悲しい時は誰かに話すことで気持ちが楽になり、前向きになれると思います。また逆に、辛い思いをしている人には勇気を出して声をかけたいです。思いやりのある温かい社会になってほしいという願いをこめました。



【標語の部】

「やっちゃんて この世にいじめのない世界 まずはぼくからあなたから」

笠岡市立中央小学校5年 富田 樹

いじめで悲しみにみちた世界にするのか、人を思い合う世界にするかは、ぼくたち次第です。いじめは、いじめてもいじめられても不幸です。いじめで悲しむ人がこの世からいなくなるといいと願うぼくの決意を言葉にしました。



「ひとこきゅう いったことは もどらない」

県立誕生寺支援学校高等部3年 稲村 彰悟

僕はいじめられた人は絶対に言われたことを忘れないと思います。自分がされてきた経験でも、相手の人が少しでも落ち着いて考えてくれたら、いじめはなくなるのではないかと思ひ書きました。



優 秀 賞

【ポスターの部】



倉敷市立琴浦東小学校1年 別所 旺磨



赤穂市立山陽小学校1年 土肥 佑華



早島町立早島小学校3年 吉沢 蒼空



倉敷市立西阿知小学校4年 住田 結希乃



矢掛町立小田小学校5年 杉本 憲洋



鏡野町立鏡野中学校1年 池田 和奏



県立津山工業高校1年 黒見 彩絵



県立倉敷藤羽高校2年 洲脇 帆南

【標語の部】

「いじめだめ!! いっしょにあそぼう たのしいよ」
倉敷市立第五福田小学校1年 蟹江 勲平

「そのことば あいてはどんな きもちだろう」
倉敷市立琴浦東小学校2年 高橋 晴

「こわいけど勇気を出して注意しよう。みんなの目標いじめゼロ。」
玉野市立宇野小学校4年 夏目 花蓮

「やめてみない? わるぐち かげぐち いじめのスイッチ」
新見市立野馳小学校4年 黒岩 直生

「動きだそう いじめを止めるのは 自分たち」
倉敷市立柳井原小学校6年 引田 翔

「じゃれあいに見えぬいじめを見逃すな」
美作市立作東中学校1年 寺師 風薫

「やめようよ 言える勇気を ふりしぼれ」
美作市立勝田中学校3年 森元 梨湖

「助けたい その気持ちを今 行動に」
県立岡山操山高校1年 守安 紘規

平成28年度 大好評!「わが家のすこやか日記」

泣いたり、笑ったり、時には怒ったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、子どもから大人まで様々な世代の方から昨年お寄せいただいた作品のうち、優秀作品11作品を紹介いたします。(学年は受賞時)

いもうとのヒーローになるで賞

ぼくのいもうと

岡山市立高島保育園 古田 誠一郎

ぼくのいもうとがうまれたよ。おてもあしもすごくちいさいけど、ぼくがゆびをだすとギュッとにぎってくれるんだよ。ぼくはがんばってヒーローになって、いもうとをまもれるおにいちゃんになるよ!

おとうさんがだいすきで賞

わたしのおとうさん

井原市立稲倉小学校 1年 谷 理緒

わたしのおとうさんは、かいしゃについてパソコンをしたり、こうじょうではたらいたりしています。「たおれそうだな。」と喋っていいえにかえってきます。そして、「げんきがでるんじゃあ。」と喋って、わたしにだきついてきます。ちょっぴりひげがいたいけれど、げんきになれるならとおもってがまんしています。おとうさんだいすき。

おかあさんと作ったハンバーグはおいしいで賞

はじめて作ったハンバーグ

総社市立総社中央小学校 2年 山谷 彩音

まい日おしごとをがんばっているお父さんに、手づくりハンバーグをお母さんといっしょに作りました。ざいりょうは、お母さんが切って、わたしが力いっぱいこねて、ふわふわのハンバーグをハートの形に作ってやきました。ハンバーグができあがったところに、お父さんがかえってきて、かぞくそろって、ハンバーグをたべました。がんばって作ったハンバーグを、お父さんがえがおで「すごくおいしいよ。」と、よろこんでくれたのが、とてもうれしかったです。また作って、よろこぶかおが見たいです。

いつまでもきれいで賞

おしゃれなひいおばあちゃん

高梁市立松原小学校 3年 谷村 彩夏

うちのひいおばあちゃんはとってもおしゃれな九十六才です。しょっちゅうかがみを見ています。「美白こう果があるんじゃ。」とお茶がらを顔いっぱいにはって、じっくりかがみを見ています。さすがにみんなギョッとします。こんなひいおばあちゃんが私は、大好きです。長生きしてね。ひいおばあちゃん。

運動会の弁当は楽しみで賞

運動会のお弁当

勝央町立勝央北小学校 4年 末田 莉久

運動会の中でも一番楽しみなのは、家族とおじいちゃんとおばあちゃんたちといっしょに弁当を食べることです。弁当の中には、ぼくの好きな物がたくさん入っています。中身は全て手作りのので、とてもおいしくて、つかれもふきとんだ気がしました。お母さんとおばあちゃんが作ってくれた弁当の味は、一生わすれたくありません。

助け合うことは大切で賞

ぼくの家族

倉敷市立水島小学校 5年 西山 純平

ぼくの家族には、四十年間車いすの生活をしているおばあちゃんがあります。ぼくたち家族の仕事は、このおばあちゃんを助けることです。トイレに行くときは、ズボンをおろしてあげます。車にのるときは、のった後に車の後ろのドアを開け、車いすをしまします。坂があったら、おばあちゃんの背中が低い方に向きます。とても大変ですが、おばあちゃんも大変なんだから、がんばろうといつも思っています。いつも、こうして家族はなり立ち、おたがい助け合って生活をしています。今日もがんばるぞ〜。

優しい姉のようになりたいで賞

おばあさん救助

矢掛町立中川小学校 6年 波多野 七虹

ある日の夕方、父と姉が犬の散歩をしていると、おし車ごとみぞに落ちているおばあさんを遠くに見つけたそうです。すると姉は、急に走り出しておばあさんを助けあげ、おし車を起こしてあげたそうです。そして「家はどこですか?」と聞いて家までおくるたそうです。私は、もうすぐ中学生になるけれど姉みたいに困っている人がいると助けられるようになりたいです。

正しいことを言う父は最高で賞

私のお父さん

県立津山中学校 2年 西本 果保

私のお父さんは、めんどろな人です。家族以外でもすぐ怒るし、文句言うし、いろんな人にからみに行くし、いかついです。私の友達にもよくからみにいきます。正直やめてほしい時もあります。でも私はそんなお父さんのことが好きです。お父さんが怒ったり、文句を言う時はきちんと筋が通っていてけっこう正しいことを言っています。いろんな人にからみに行くけど、お父さんは友達も多くて人気者です。家族のことをいつも考え、行動してくれる私のお父さんは最高のお父さんです。

母の言葉でがんばれるで賞

大丈夫

県立井原高等学校 2年 和田 愛加

「大丈夫だよ。ママの子だもん。」これが私の母の口ぐせです。私が部活で悩んでいる時、課題が進まない時、人間関係がうまくいかず落ち込んでいる時、必ずと言っていいほどこの言葉をかけてくれます。

私にとって母は、優しく、しかし間違えると厳しく叱ってくれ、たくさんの愛情を注いでくれる人です。そして、そんな母に憧れています。だから私は、この言葉をかけてもらえると、もう一度頑張ってみよう、と思えます。この言葉、愛情をかけてくれるママへ、ありがとう。

優しい子どもに育ったで賞

優しく育った子どもに感動

井原市立大江小学校 保護者 立間 明子

小学二年の時、子どもがくつをびしょびしょにぬらして帰ってきたことがありました。理由を聞いても「なんかぬれた。」と言うだけでした。私はいつものようによそ見をしていて溝にはまったのだらうと思ひ「前を向いて歩かんからよ!」と怒っていました。

その後、近所の一学年下のお母さんから電話があり、川に落としたその子の教科書をひろってあげていたことがわかりました。私はきちんと理由を聞かず怒ったことを後悔し、優しく育った子どもの心に感動しました。

気付かせてくれたこと

高梁市 藤森 沙織

その日私は仕事で、隣に住む主人の母に二歳の息子を預かってもらっていました。帰宅するなり、「私はとても感動した!」と母。聞くと、なかなか昼寝をしない息子の横で寝たふりしていると、息子が母に布団をかけてくれたとのこと。感動をかみしめている母の横で私は猛反省です。

実はすでに息子から布団をかけてもらったことのある私。保育園で覚えただらう、程度にしか思っていなかったからです。小さな成長に感動し気付かせてくれる母と、そんな家族に囲まれて育っている息子。感謝の気持ちを持ち続けたいと思ひました。

小さな成長に感動したで賞

Q 中学1年生男子生徒の父親です。私の息子は、5歳のときに発達障害がある(知的発達に遅れはない)と診断されました。特別支援学級への入級も考えましたが、本人が「みんなと一緒に学級がいい」と言うので、通常の学級に進学し、現在に至ります。5月までは、新しい生活にも何とか慣れ、頑張って登校していたのですが、6月頃から、登校をしぶるようになってきました。朝になると、「お腹が痛い」「今日は学校に行きたくない」と言うようになりました。理由を尋ねても、ただただ「痛い」「行きたくない」を繰り返すばかりで、明確な答えは返ってきません。現在は、週に一度くらいのペースで学校を休んでいます。だんだんと学校へ行かない日が増えていくのではないかと心配しています。

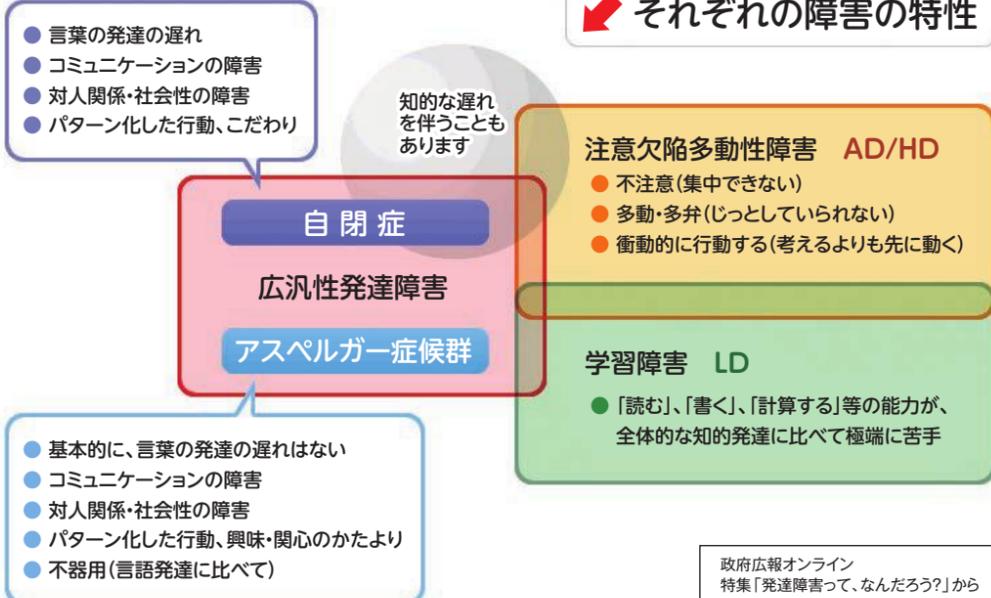
A 中学校生活という新しい慣れない環境の中、お子さんは頑張ってこられたんですね。一つ確認しておきたいことは、発達障害があるから、必ずしも不登校になるわけではないということです。しかし、「相手の気持ちや状況を読み取って行動することが苦手である」「感情のコントロールが苦手である」などの発達障害の特性により、友達と言い争いになってしまったり、どのように振る舞えばいいのか分からなくて不安になったりしたことはあったかもしれません。また、自分の取った言動に対して、先生や友達に怒られたり、注意されたりして、「どうせ自分はだめなんだ…」と、自己肯定感を下げてしまうこともあったかもしれません。そのような経験が繰り返される中で、気分が落ち込んでしまったり、腹痛などの身体症状が表れたりすることも考えられます。それが、登校しぶりにつながることもあるでしょう。

発達障害のある子どもが登校をしぶりだしました。どうしたらよいでしょう…。

- 登校しぶりの理由を探る**
 お子さんが、とりえず学校に行けるようになればいいという対症的な対応だけでは、解決に向かわないこともあります。なぜ登校しぶりという行動を取っているのかという理由を探ることが大切です。例えば、先生や友達の思いがうまく読み取れなくて、人間関係に疲れてしまったことが理由であるならば、絵や吹き出しなども使いながら、お子さんや相手の気持ちを分かりやすく伝えるやりとりをすることなどが考えられます。やりとりを通して、お子さんは、気持ちのすれ違いや勘違いに気付いたり、自分の気持ちを聞いてもらえる安心感を得たりすることができるのではないのでしょうか。このように理由を考えて支援していくことで、お子さんの気持ちに寄り添った対応になっていきます。
- 今、できる支援を考える**
 理由が分かりやすい場合には、前述したように適切な支援につながりやすいのですが、場合によっては、理由を特定できないこともあるでしょう。そのようなときには、まず、心の安定を図りましょう。お子さんにとって、ありのままの自分を受け入れてくれる人とのつながりは、何にも勝る心のエネルギーとなります。また、できない自分に傷ついているのであれば、できるからよい、できないから悪いという価値観だけではないことを丁寧に伝えていきたいものです。目標に向けて頑張った過程や、前回よりもできるようになった成長をたくさん褒めることで、苦手なこともあるけれど、いいところもあるんだと、お子さんが自分を好きになれるように言葉をかけていけるといいですね。
- チームで取り組む**
 学校へ行きづらいお子さんの対応には、相当のエネルギーを要します。お父さんの心と体にも元気とゆとりが必要です。一人で抱え込まずに、学校や地域の方、相談機関としっかり連携をとって、チームで支援していきましょう。支えてくれる人がいることに気付くと、大変心強いものです。

発達障害のある子どもへの支援

発達障害とは



※自閉症・広汎性発達障害、アスペルガー症候群等は、「自閉症スペクトラム」と呼ばれることもあります。

学校では

クラス子ども全員が「わかる・できる」授業づくりと互いを認め合う集団づくりを行った上で、特別な支援を必要とする子の個別の指導・支援に取り組んでいます。

集団への支援



めあての提示やICT機器の活用など

個別の支援

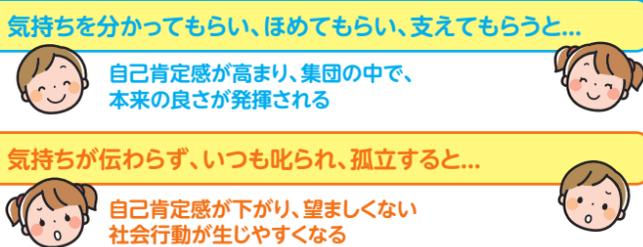


学習の流れの提示や席の位置など

周囲の関わり方の大切さ

本人の特性

- できることとできないことの差が大きい
- 人と違った感じ方、考え方をする



高等学校等への進学や就職を支援するポイント

自立し、働くことへの前向きな姿勢を育む

障害の特性や、自分の強み・弱みに関する自己理解を導く

進学・就職先へ支援情報を引継ぐ(個別の教育支援計画等の活用)

障害のある人とない人が可能な限り共に学び、共に支え合う社会をつくる

※高等支援学校や特別支援学校高等部知的障害部門に入学する基準は、「知的障害があること」が前提となります。高等学校等において必要な支援を受けながら学んでいくことになります。

ひとりで悩まないで!

「うちの子は発達障害なの?」

「発達障害にどう対応したらいいかわからない」

子どもへの支援で一番大切なことは、子どもに関わる周囲の人が、**つながってみんなで支え合うこと**です。まずは、一人で悩まず、気軽に御相談ください。

岡山県総合教育センター

● 障害や発達に関すること	☎(0866)56-9117
● 障害のあるお子さんの学習面や学校生活に関すること	
● 障害のあるお子さんの家庭生活に関すること など	
面接相談【要予約】	月・水・木・金曜日/9:00~19:00 火曜日/13:00~19:00
電話相談(随時)	月・水・木・金曜日/9:00~17:00 火曜日/13:00~17:00
土・日・祝日・振替休日はお休みです	
医師による教育相談【要予約】 上記電話で相談予約	
原則、毎月第4水曜日/16:00~18:00	
※相談内容によってはお受けできない場合があります	

お住まいの市町村教育委員会や児童相談所・発達障害者支援センター等でも相談に応じています。